

事業所職員向け

放課後等デイサービス評価表（公表）

公表日 令和3年3月31日

事業所名 多機能型重症児デイすいんく

チェック項目	はい	分からない	いいえ	意見	対応
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	40%	20%	40%	・利用者が増えているので狭い時は大変だが、1mくらいあけて支援するように配慮している ・利用人数にもよると思う	バリアフリー化されていますが、スタッフも多くなったため、子どもとスタッフの総数20名を超える日もありません。狭く感じてしまうのは否めないと思います。 7月末に別棟完成予定なので、ゆとりをもって支援に当たれるようにしていきます。
職員の配置数は適切であるか	50%	50%		・なるべく勤務に偏りが出ないようにしていきたい	
事業所の設備などについて、バリアフリー化が適切になされているか	60%	40%			
業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	40%	60%			PDCAサイクルは年単位で使うツールになるので、年単位で研修の際に業務改善をしていきたいと思います
保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者向等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%		・保護者の意向を中心にケアをしていきたいと思いません	評価表を踏まえ、業務改善に取り組んでおります
この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	20%	60%	20%		HPが現在更新できておりませんので、LINE・文書で発信しています

チェック項目	はい	わからない	いいえ	意見	対応
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	60%	20%		外部評価は導入していません
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	40%	40%	20%	・コロナの影響もあり、仕方がないと思う	令和2年度は外部研修参加が叶いませんでした 令和3年度は事業所内研修を実現させ、支援の資質向上に努めます
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズを課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	40%	60%			令和2年度は面談が難しく、学校の教育支援計画をベースに支援計画を立案しました。令和3年度は面談も感染症対策をした上で実施し、計画立案作成をしていきます
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20%	60%	20%	・アセスメントツールがよくわからない時は、スタッフ内でその都度相談している	重症児においては、標準化されたアセスメントツールを用いることが難しいと思います
活動プログラムの立案をチームで行っているか		100%			活動プログラムの立案については、職種の偏りがありましたが、今後は勉強会などを通じて、たくさんの職種から意見を聴取し、全員で立案に参加できるようにして参ります
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	40%	60%		・他多職種内で話し合いする時間が取れると良いと思う	
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ、細やかに設定して支援しているか	20%	80%			
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%			

チェック項目	はい	分からない	いいえ	意見	対応
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%		・打ち合わせした内容については、個々のメモを残しその度確認しながら支援につなげている	公休や遅番のスタッフへの伝達方法が確立されておりませんでした。 令和3年度は伝達方法を確立し、統一した支援が行えるようにしていきます
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%		・以前に比べると申し送り等できてたように思います	
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20%	80%		・初回の情報収集、項目ごとの用紙を活用しながら。今後の支援につなげていきたいと思います	職種によって記録方法が統一されていなかったのが、令和3年度は支援検証しやすい記録の徹底をして参ります
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	60%	20%	20%		モニタリングが書面を通してのみしか行えていなかったのが、令和3年度は見直し可否が分かりやすいようにしていきます
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	20%	80%		・ガイドライン総則についてくわしく知りたいです	ガイドラインについては、令和2年度は勉強の機会を設けることができませんでした。研修を通して勉強し、支援に繋がられる方法を話し合いたいと思います
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	40%	40%	20%		令和3年度は、必要とされる職種・スタッフが積極的に参加できる体制を整えていきます
学校との情報共有（年間計画・行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	60%	40%		・学校からの申し送りは必ず聞くようにしている。トラブル時はすぐ連絡が取れるようスマホを持つようにしている	

チェック項目	はい	分からない	いいえ	意見	対応
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	40%			医療的ケア児を受け入れる際は、主治医及び関係機関・保護者・事業所が一体となって、連絡体制を整えてからの利用になっています
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40%	60%			学校卒業時は学校からの情報提供、就学前は支援学校への情報提供を書面を通じて行っております。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	80%	20%			令和3年度はICTを導入し、スタッフが支援時にいつでも情報を確認できる体制を整えます
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	60%			近隣に重症心身障害児の専門機関がないため、全国重症児デイサービスネットワークの研修を受け、資質向上の取り組みをしています
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		60%	40%		感染症流行状況を踏まえると、参加する機会が設けられませんでした
(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか	20%	40%	40%		
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い。子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%			

チェック項目	はい	分からない	いいえ	意見	対応
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		80%	20%		ペアレント・トレーニングとは、意思疎通を図りながら、お子様の言動などに対して支援をしていく方法になりますので、車椅子のお子様にもどのように取り入れていくかが課題です
運営規程、支援内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	60%	40%			重要事項説明、及び、支援に関すること、利用者負担については利用開始時説明しております
保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%			保護者様の悩み・不安に即座に対応できるよう、情報共有を徹底して、対応できる体制を構築して参ります
父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	20%	80%			感染症流行状況を踏まえると、活動する機会が設けられませんでした
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		・苦情についてはスタッフ全員が周知して皆で協力して対応できるように心がけていきたいです	苦情・保護者様からの声はスタッフに即座に届け、業務改善が必要とされる場合が即座に対応できる体制を整えています
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	60%	20%			現在は毎月おたよりを発行していますが、今後は季刊誌のようなもので活動概要・連絡体制の周知も定期的に行っていきたいと思っております

チェック項目	はい	分からない	いいえ	意見	対応
個人情報に十分注意しているか	80%	20%			個人情報の取り扱いの勉強会を実施して参ります
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%			
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%			感染症流行状況を踏まえると、活動する機会が設けられませんでした
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%		・定期的に様々な場面を想定して行っていく必要があります ・定期的には様々な場面を想定して行っていく必要があります	今までもお子様を含めた訓練の実施、マニュアルを配布してきましたが、今後は定期的に実施し、緊急時に対応できる体制強化に努めて参ります
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%			
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20%	60%	20%	・タブレットで写真を撮り、記録に残すようにしている	
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	40%	60%		・拘束は基本的に行わないようにそばについて見守りの姿勢を行っている	身体拘束は行わない方針ですが、必要時には事前に説明し、了解を得るための書面の準備
食物アレルギーのある子どもについて、維新の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%		・おやつ等、自宅からの持参したものを食する対応は継続した方がいい	
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%		・共有した内容については同じ様な事故が起きないように周知できているように思う	